



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第1号

令和6年4月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

つながる つなげる (始業式の講話から)

校長 冨永 浩文

令和6年度がスタート。9日には1年生64名が入学しました。入学式では、6年生と手をつないで、元気に入場しました。全校児童359名の健やかな成長のために、取り組んでまいります。

さて、校長室には、相馬御風が詠んだ、次のような短歌の書が掛けられています。

「^ち多^のけ^う能^の子の ^こ古^とと^くま^す須^ぐ久^に尔 ^のひ^のの^ひと ^そ多^たぬ^も能^の加 ^人間^のの^こ子^も」(御風)

子どもたちに、筍のように、真っすぐ、伸びやかに育ってほしいという気持ちを込めて詠んだのでしょう。御風の子どもたちを思う温かい心、見つめる眼差しのやさしさが伝わってきます。

3月末から4月初めの年度変わりのこの時期は、1年間の節目にあたります。竹で言う硬い節です。竹は、この節があるから、強さと軽さ、しなやかさを維持できます。また、竹は、成長も早いのが特徴で、1日に1メートル以上伸びることもがあると聞きます。私も、子どもたちには、この竹のように、土台となる節目、成長の過程でできる節目を生かして、強く、伸びやかでしなやかに育ってほしいと思います。そして、8日の始業式では、次のように話しました。

今日から1つ学年が上がりました。1学期のスタートです。心の準備はいいですか。全校児童は、1年生が入学すると359人になります。56名の先生方を加えると415名、よいこです。よい子の楽しい学校を作りましょう。今の時期は節目と呼ばれます。竹で言えば硬い節(ふし)ですね。節を生かして、真っすぐ、伸び伸びと自分の良いところを伸ばしていきましょう。

新学期にあたって皆さんにお願いしたいことは、「つながる」、「つなげる」ということです。

まず、「つながる」ということです。これは、友達とのつながり、先生方とのつながり、地域の人とのつながりを大切にしてほしいということです。まずはあいさつを頑張っていきましょう。自分から気持ちよくできるといいですね。また、言葉をとおして、心と心のつながりをもちましょう。お互いに違いを認め、良さを見つけ大切にしていきましょう。

次に、「つなげる」ということです。これは、目標をもって、自分で、また、友達と一緒に挑戦し、できるようになったこと、かけがえのない思い出を、どんどん次の活動、次の目標につなげていってほしいということです。気づいたときには、竹のようにたくさんの節を作りながら、すくすくと大きく成長しているはずですよ。一緒に頑張っていきましょう。



つながる (わかば班結成式)

竹はこの時季に秋を迎えます。竹秋(ちくしゅう)と言います。竹の葉が黄色に色づくからです。しかし、決して竹の命の終わりではありません。竹は地下でしっかり「つながって」います。竹の葉が色づくのは、竹の子どもである筍に栄養分を与えるためです。竹にとって、新しい命に望みを「つなげる」ための営みなのですね。